

① 令和4年度（2022年度）諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組		令和4年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗 状況	今後の取組方針
生活排水対策の推進	水環境に配慮した生活行動の推進	・家庭からの汚濁物質の低減に努めるため、水環境保全に配慮した生活習慣の呼びかけ		市町村 諏訪地域振興局環境課		浄化槽の適正な維持管理の指導	B	引き続き指導・啓発を行う。
	下水道供用区域内における下水道への接続の促進	・遅滞なく下水道に接続するよう、地域住民への啓発・指導の実施		市町村 諏訪湖流域下水道事務所		・「下水道の日」にあわせた啓発広告の掲載(下諏訪町) (クリーンレイク諏訪下水道ふれあいまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR2・R3・R4年度中止) ・下水道ふれあい見学会の実施(クリーンレイク諏訪施設見学)	B	引き続き指導・啓発を行う。
	浄化槽の適正な設置及び管理の確保	・浄化槽法及び建築基準法に基づく適正な設置を促す		市町村 諏訪建設事務所建築課 諏訪地域振興局環境課			B	引き続き指導・啓発を行う。
		・浄化槽法に基づく適正な管理を促すため、諏訪浄化槽衛生管理組合を通じて、施工者、管理者等への指導・啓発の実施		市町村 諏訪地域振興局環境課		6月に設置者研修会を実施した。 9月、10月に浄化槽衛生管理組合と合同で一斉点検を実施した。	B	引き続き指導・啓発を行う。
		・浄化槽の保守点検、法定検査受検促進のための立入検査		市町村 諏訪地域振興局環境課		(諏訪地域振興局環境課) 新型コロナウイルス感染状況に鑑みながら133件立入検査実施(R5.3.13時点) (富士見町) ・【町】R3(10件)、R4(10件)実施	B	引き続き立入検査を実施する。
廃棄物処理施設による処理	・ごみの不法投棄や不適正処理による水質汚濁防止のための一般廃棄物の適正処理の推進		市町村		(岡谷市) ・不法投棄多発箇所に啓発看板を設置 ・広報おかやに啓発記事掲載(下諏訪町) 不法投棄多発箇所に啓発看板の設置や不法投棄監視員による定期的な見回り等を実施。 (富士見町) ・【町】警告看板等の設置、広報等による啓発	B	・今後も継続して行い、不法投棄の防止に努める ・看板の設置や不法投棄の通報があった箇所の見回りなどを行っているが、様々な場所で不法投棄が行われているため、今後も継続して啓発活動を行っていく。	
	・一般廃棄物の排出抑制、再使用		市町村			B	引き続き実施する	
湖沼の対策	水草の除去	・水草刈取船によるヒシ除去	⑤	諏訪建設事務所		・510t以上	C	
		・小型水草刈取船によるヒシ除去	④	諏訪建設事務所		・小型水草刈取船によるヒシの刈取り	C	
		・手作業によるヒシ除去作業	④	ビジョン推進会議構成員等 (諏訪地域振興局環境課)		・初島付近 7/7、8、9実施、除去量8t(湿潤) (富士見町)(7/8)職員1名参加	地局環境課：C 富士見町：B	目標値は14tとなっているが、除去量について検討が必要
				岡谷市、諏訪湖漁業協同組合環境市民会議おこや		・岡谷市ヒシ除去体験事業(7/9) 参加者69名 除去量2t	B	ヒシの除去による水質の改善だけではなく、ヒシ除去体験によって、諏訪湖の現状を知る啓発活動となるため、今後も継続的に実施していく。
岡谷市		岡谷子どもエコクラブ(7/16) 安全性確保のため高学年のみで実施 参加者21名 除去量1t	B	ヒシ除去を通じて実際に諏訪湖の現状を知り、子どもの頃から諏訪湖の環境に興味・関心を持ってもらうため、今後も継続的に実施していく。				
諏訪市、諏訪市セーリング協会、諏訪湖釣船組合	信濃毎日新聞社	・諏訪市ヒシ除去作業(7/2) 参加者100人、除去量0.76トン ※「トヨタソーシャルフェス」として実施	C	ヒシ除去に際しては、関係機関・民間との連携や、次世代への環境教育が重要であることから、他との連携を推進し、参加者募集に際しては幅広い層の参加を目指す。				

※1 別様式 令和4年度（2022年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。

① 令和4年度（2022年度）諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組	令和4年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針	
	・除去したヒシの堆肥化		諏訪建設事務所 諏訪地域振興局環境課 岡谷市 諏訪市	諏訪湖浄化推進 和限	・上記で除去したヒシの堆肥化	B	堆肥化を継続する。	
	・ヒシの資源化に係る研究		(株)みのり建設		・ヒシと周辺地域の刈草、牛フン資材を用い、持続可能な循環型社会の実現に向けた研究。	B		
	・効果的にヒシの繁茂を抑制する方法の検討							
	・その他の水草の除去		長野県ボート協会 諏訪市セーリング協会		(長野県ボート協会) 7～8月 漕艇場周辺の水草除去及び漂流物除去	A	(長野県ボート協会) 水草除去作業の協力人員の拡大。	
	・ヒシ、水草の除去		太陽工業株式会社		・社内ボート部による除去作業、啓もう			
覆砂(浅場造成)	・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行	③⑧	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	C		
	・覆砂実施箇所におけるシジミの生息状況調査	⑧	水産試験場諏訪支場		・自然繁殖したシジミの生息調査：6地点(5月、8月、11月)	A	シジミに適した環境か把握するため生息状況調査を継続する	
湖沼の対策	湖沼水質保全計画		水大気環境課	諏訪湖創生ビジョン推進会議	○第8期諏訪湖水質保全計画の策定	A	第8期計画の目標達成に向けた各種取組みの実施	
	漂着ごみ等の除去	・諏訪湖岸に打ち上げられたごみの除去		アダプトプログラム登録団体	・諏訪湖アダプトプログラム実施			
				岡谷市、諏訪市、下諏訪町	諏訪湖周3市町住民、衛生自治会連合会等団体	(岡谷市) ・5/29 諏訪湖及び河川一斉清掃 参加者 1000名 回収量 505kg ・10/16 諏訪湖周一斉清掃 参加者 450名 回収量 229kg (諏訪市) ・5/29 春の環境美化活動 参加者 422人、ごみ回収量 940kg ・10/16 秋の環境美化活動 参加者 295人、ごみ回収量 2,971kg (下諏訪町) ・5/29 一斉清掃 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模縮小】 ・10/16 諏訪湖周の一斉清掃 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模縮小】	B	継続的な活動が必要なため、今後も実施していく。
				下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会		・下諏訪町内での諏訪湖岸清掃 4月～令和5年3月 計10回(町行事への参加を含む) 【7月、2月は悪天候のため中止】 5年間で計47回実施 ・第3回諏訪湖まるまるゴミ調査への協力	B	今後も継続して実施する。
				諏訪湖漁業協同組合		・出漁時及び出水後 組合員のべ207名参加、 水草等含め8㎡除去	A	継続実施。
・湖底に沈んだごみ・浮遊ごみの除去		諏訪市セーリング協会、 諏訪湖カヤック、諏訪市	ホテル紅や	・諏訪湖浮遊ごみ除去作業(10/16) 参加者43人、ごみ回収量45kg	B	今年度と同様または規模を拡大し実施していく。実施時期は早める。		

※1 別様式 令和4年度（2022年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和4年度（2022年度）諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組		令和4年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
						※今年度新たにカヤックも使いアクティビティ要素をプラス		
		・船着場のヒシ除去、清掃・草刈		諏訪湖漁業協同組合		・船着場利用者(毎月1回以上) 組合員・職員の内135名参加、浮遊ゴミ等含め8㎡除去	A	継続実施。
		・水辺のごみ調査実施		下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会		・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録 4月～11月 計4回(4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、7月は悪天候のため中止)	B	今後も継続して実施する。
				ビジョン推進会議構成員他		・第3回諏訪湖まるまるゴミ調査 10/1 (富士見町)職員2名参加	B	引き続きごみの無い諏訪湖 WG の取組を継続する。
	生物豊かな湖岸域の復元・創出	・生物豊かな湖岸域の復元・創出に向けた調査等	④	諏訪建設事務所		・Bゾーン・Cゾーンにおける動植物調査	C	
流入河川等の対策	多自然川づくり	・砥川、新川、鴨池川の整備推進		諏訪建設事務所		・砥川、新川、鴨池川において継続実施	C	
	自然浄化機能を活かした水質浄化	・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行	③	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	C	
	沈澱ピットによる栄養塩類を含む土砂の除去	・一部土砂掘削し、栄養塩類の分析を実施		諏訪建設事務所		・上川河口にて実施	C	
	植生水路による栄養塩類の除去	・植生水路の工事推進		諏訪建設事務所		・早期工事の推進(R3 工事 L= 350m)	C	
	枯れたヨシ等の除去	・支障木等の除去(砥川)		諏訪建設事務所	砥川を愛する会	・ニセアカシア除伐・土手草刈り作業(6/12、10/2)	C	
		・河川愛護活動			アダプトプログラム登録団体			
工場・事業場排水	排水規制	・排水基準遵守徹底のための立入検査・指導を実施		諏訪地域振興局環境課		事業所等の立入検査を 110 件実施。(R5.3.13 時点)	B	引き続き、立入検査・指導を実施する。
	汚濁負荷量規制	・日平均排水量 50 ㎡以上の湖沼特定事業場への立入検査・指導の実施		諏訪地域振興局環境課		事業所等の立入検査を 28 件実施。(R5.3.13 時点)	B	引き続き、立入検査・指導を実施する。
	下水道接続	・供用区域内の工場・事業場への下水道への接続の促進		市町村 諏訪地域振興局環境課			B	引き続き実施する
畜産に係る汚濁負荷対策		・家畜排せつ物及び畜舎の適正管理の指導・啓発		諏訪農業農村支援センター		・畜産農家巡回による適正指導の実施(26 件)	A	R5年度も巡回により管理状況を確認し、課題がある場合は指導を行う
魚類養殖に係る汚濁負荷対策		・湖沼法指定施設における規制基準の遵守の徹底		諏訪地域振興局環境課		こいの養殖施設が規模縮小のため指定施設に該当しなくなった。	—	
		・内水面養殖管理指針に基づき、環境への負荷を考慮した養殖生産の促進		諏訪湖漁業協同組合		・R4実施面数 2面	A	継続実施。
流出水対策	市街地対策	・道路路面の清掃		市町村 諏訪建設事務所		・【県】311.4km	B	引き続き実施する
		・道路側溝、水路等の清掃		市町村 諏訪建設事務所		・【県】131km、 ・【市町村】(岡谷市)市発注が 300m、各行政区が 10,000m 他	B	引き続き実施する
		・不法投棄やごみのポイ捨て防止のための啓発		市町村		(岡谷市) ・不法投棄多発箇所に啓発看板を設置 ・広報おかやに啓発記事掲載(下諏訪町) 不法投棄多発箇所に啓発看板の設置、不法投	B	・今後も継続して行い、不法投棄やポイ捨ての防止に努める。 ・今後も取り組みを継続していく

※1 別様式 令和4年度（2022年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和4年度(2022年度)諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%~)・C：概ね順調(60%~)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組	令和4年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
農地対策					棄パトロール及び回収 ・(富士見町) 不法投棄警告看板及びポイ捨て禁止啓発のぼり旗の設置・支給		
	・GAPの実践による持続的な農業生産の実現		諏訪農業農村支援センター		・国際水準GAPの取得支援(4件)	A	国際水準GAPの取得支援(6件)
	・環境にやさしい農業への取組拡大		諏訪農業農村支援センター		・信州の環境にやさしい農産物認証の取組面積(92h)a	A	信州の環境にやさしい農産物認証取組の推進(92ha)
	・「エコファーマー」の認定を通じた意識啓発		諏訪農業農村支援センター		・エコファーマーの再認定の推進	B	化学合成農薬に頼らないグリーン栽培体系の支援(緑肥作物の取組 190ha)
	・地域における農地や農業用水路等における環境保全		諏訪農業農村支援センター		・環境保全型農業直接支払制度の取組推進(4市町村)	A	環境保全型農業直接支払制度の取組を推進(4市町村)
	・「環境農業」により生産された農産物の流通促進		諏訪農業農村支援センター		・諏訪地域農産物直売所スタンプラリーの実施(26店舗)	A	農産物直売所スタンプラリーによる諏訪地域の農産物をPR(30店舗)
・ヒシを原料とした堆肥の活用促進			(株)みのり建設 市町村 諏訪地域振興局(環境課・諏訪農業農村支援センター)	堆肥化事業者	・ヒシ堆肥を管内47の小中学校、養護学校に配布。また、計5回の環境イベントにおいてもヒシ堆肥を配布し、地域における資源循環を啓発	B	ヒシ堆肥の配布に合わせてポスター等を活用した解説を行い、地域における資源循環に対する理解促進を図る。
自然地域対策	・間伐を中心とした森林整備・植林		市町村 諏訪地域振興局林務課		・【県】2.4ha (岡谷市)13.41ha (下諏訪町)25.77ha ・森林の里親促進事業 契約した企業と森林所有者(生産森林組合等)で森林整備を実施	地局林務課、岡谷市、富士見町：C 下諏訪町：B	(地局林務課)市町村と連携して、森林整備を推進し、土砂の流出を抑える。 (岡谷市)適正な森林管理を推進する。 ・間伐を中心とした森林整備・植林(下諏訪町、富士見町)引き続き実施する
	・治山施設の建設		諏訪地域振興局林務課		・5箇所	C	計画に沿って治山施設の建設を推進し、土砂の流出を抑える。
	・砂防施設の建設		諏訪建設事務所		・3溪流(朽久保川、大沢川、竹の沢川、蓮井川)で実施	C	
	・ゴルフ場などの汚濁負荷流出防止への努力を啓発		諏訪地域振興局環境課		・ゴルフ場排水検査について7施設(諏訪レイクヒルカントリークラブ、諏訪湖カントリークラブ、蓼科高原カントリークラブ、鹿島南蓼科ゴルフコース、三井の森蓼科ゴルフ倶楽部、蓼科東急ゴルフコース、フォレストカントリークラブ三井の森)で実施	A	引き続き指導・啓発を行う。
公共用水域の水質監視	・常時監視	⑤	松本保健福祉事務所検査課 環境保全研究所		・湖内3地点及び釜口水門で月1回実施	A	引き続き実施
	水質の測定	・その他水質検査	諏訪湖クラブ	長野県水質マップネット	・諏訪湖クラブ(諏訪湖・天竜川水系分担)、全国一斉水質調査への参加(10名、30地点)及び長野県水質マップ作製(30団体、380地点) ・ナノバブルを利用した諏訪湖沿岸域環境改善実験	A	令和5年度、第20回水質調査に継続して参加、長野県水質マップも継続して作成する
			諏訪湖漁業協同組合		・貧酸素等異常視認時調査(湖内水質・プランクトン等)	廃止	IOT活用のリアルタイム監視で代替

※1 別様式 令和4年度(2022年度)構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和4年度(2022年度)諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%~)・C：概ね順調(60%~)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組		令和4年度取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
	水質汚濁事故の対応	・油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導		市町村 諏訪地域振興局(環境課・諏訪農業農村支援センター) 諏訪建設事務所 諏訪湖漁業協同組合	消防、警察	(岡谷市) ・流出事故が発生し原因者が判明した場合には、今後の事故防止のための指導を行った。 ・広報おかやに啓発記事掲載 ・啓発パネル設置(4箇所) (下諏訪町) 油類の流出事故が発生し、原因者が判明した場合には、今後の事故防止のために指導を行った。 【漁協】食の安全確保対応(操業・出荷の停止、漁獲物廃棄等) 被害拡大防止のための情報収集実施	下諏訪町、富士見町：B 諏訪湖漁業協同組合：A	(農業農村支援センター) 漁業の衛生面から事故情報を速やかに漁協へ連絡 (下諏訪町、富士見町) 引き続き実施する (諏訪湖漁業協同組合) 引き続き実施する
貧酸素対策の推進	湖岸域の対策	・水草刈取船によるヒシ除去(再掲)	⑤	諏訪建設事務所		・510t以上	C	
		・船着場及びその周辺のヒシ除去(再掲)		諏訪湖漁業協同組合		・船着場利用者(毎月1回以上)組合員のべ92名参加、浮遊ごみ等含め8㎡除去	A	継続実施。
		・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行(再掲)	③⑧	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	C	
	貧酸素に関する調査・研究	・地元大学との連携による溶存酸素測定 ・溶存酸素濃度等連続測定 ・底質環境(沿岸域)の調査研究	①	信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所環境保全研究所 水大気環境課		・溶存酸素：湖内連続測定5地点(5月~11月) ・底質環境：底質酸素消費量調査 湖内5地点(5月、8月、10月)	C	
		・官民協働による諏訪湖貧酸素及び底質改善効果検証	①	諏訪湖クラブ 信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所	公立諏訪東京理科大学 民間企業の協力	・諏訪湖沿岸域を対象とする実証実験計画の策定、提案、実施	C	継続して活動を進め、実証実験を目指す。
		・IOTを活用した水質データのリアルタイム監視		諏訪市産業連携推進室 信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所諏訪湖漁業協同組合	Mole'sAct 他	・湖心1地点3層(周年)、沿岸1~2地点1層、湖岸1~2地点。	A	継続実施。
		・底層溶存酸素量(底層DO)の環境基準の類型指定に係る基礎資料作成	①	水大気環境課		・底層DO類型指定を行い、より効果的な貧酸素改善対策を検討する。	A	令和4年度底層溶存酸素量の類型指定を実施、今後測定地点(環境基準点)の検討を行う。
		・貧酸素水塊の解消と魚介類の生息場所創出の視点での具体的方策の実現に向け、関係機関に対する提言・協力・連携の推進		諏訪湖漁業協同組合		・諏訪湖創生ビジョンに示された構想の実現に向けて。 = 県民参加型予算への採用により、実現へ向け動き始めた。	C	実施状況の検証と今後の継続実施を期待。
	地下水調査	・水文調査		諏訪建設事務所			C	
	諏訪湖全域の湖底調査	・湖底形状調査(H30年度まで実施)	③	諏訪建設事務所			C	
・湖底測量(H30年度に実施済)		⑦	諏訪建設事務所			C		
多様な生育・生息基盤の創出	エゴの再生に向けた調査研究・エコトーンの復活	・豊かな生態系が保たれているBゾーンを中心に動植物のモニタリングの実施	④⑧	諏訪建設事務所		・Bゾーン、Cゾーンにおける動植物調査	C	
	湖辺環境保護地区の指定に向けた検討	・現状の把握	④⑧	水大気環境課			D	指定に向けた検討を実施
	間伐を中心とした森林整備	・間伐、植栽		市町村 諏訪地域振興局林務課		・【県】2.4ha 【市町村等】間伐13.41ha(岡谷市) 植林0.30ha(岡谷市)	地局林務課、岡谷市：A 富士見町：C	(岡谷市) 適正な森林管理を推進する。 ・間伐を中心とした森林整備・植林(富士見町) 引き続き実施する

※1 別様式 令和4年度(2022年度)構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和4年度(2022年度)諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%~)・C：概ね順調(60%~)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組		令和4年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗 状況	今後の取組方針
水生動植物の管理	環境整備	・生物多様性を創出する護岸整備(Cゾーン)に向けた調査等	④	諏訪建設事務所		・Bゾーン、Cゾーンにおける動植物調査	C	
		・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行(再掲)	③⑧	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	C	
		・白鳥飛来地環境整備		諏訪湖白鳥の会		・環境整備(5,7,8,10月)	A	引き続き取り組みます。
		・アレチウリ等外来植物の駆除(湖周、流入河川)		市町村		(岡谷市) ・除去事業への補助(2件 11,620円) ・広報おかやに啓発記事掲載(富士見町) ・宮川・立場川等での駆除及び広報等による啓発	B	(岡谷市) アレチウリ等の外来植物は継続した駆除を必要するため、今後も継続して実施する(富士見町) 引き続き実施する
	モニタリング	・水生動植物の生息調査	⑧	環境保全研究所		・抽水植物帯の動植物調査(年5回) ・ドローンによる空撮	C	
		・指標水生植物(エビモ)のモニタリング(年1回)	④	水産試験場諏訪支場		・ヒシ及び水生植物の分布 全湖岸水域 8月(1回)	A	湖内の生態系をモニタリングするため調査を継続する
		・指標水生動物(シジミ)のモニタリング調査(年3回)	③	水産試験場諏訪支場		・シジミの生息調査: 6地点(5月、8月、11月)	A	湖内の生態系をモニタリングするため調査を継続する
		・指標水生動物(メガネサナエ)の保全手法の検討	⑪	諏訪地域振興局環境課		・流入河川の成虫調査3回(8~9月) ・諏訪湖岸の羽化殻調査3回(7~8月) ・保全手法検討会議を12月に開催 ・啓発用リーフレット及び掲示板の作成	B	引き続きモニタリングを実施するとともに、リーフレット等を活用した啓発を行う。
		・白鳥の観察		諏訪湖白鳥の会		・初飛来確認 12月22日~北帰行確認 2月24日まで	A	引き続き取り組みます。
	漁業の振興	環境整備	・生物多様性を創出する護岸整備(Cゾーン)に向けた調査等(再掲)	⑧	諏訪建設事務所		・Bゾーン、Cゾーンにおける動植物調査	C
・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行(再掲)			③⑧	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	C	
環境再生		・漁場環境調査	⑧	水産試験場諏訪支場		・湖心:5~9月のみ週1回、その他月1回 ・他4地点:5~9月のみ週1回	A	漁場環境を把握するため調査を継続する
		・湖内定置網捕獲によるワカサギ採卵技術開発	⑧	水産試験場諏訪支場		○親魚捕獲・採卵試験:3回(3月)	A	ワカサギの新たな採卵技術を開発するため試験を継続する
		・ワカサギ資源量調査	⑧	水産試験場諏訪支場、 諏訪湖漁業協同組合		(水試) ・月1回(6~12月)	A	(水試) 生息状況を把握するため調査を継続する
		・ワカサギの生育状況調査	⑧	諏訪湖漁業協同組合		・R4実施:月1回(6~12月)	A	継続実施
		・ワカサギ種苗放流	⑧	諏訪湖漁業協同組合		・目標:5億粒。 R4実施:4.35億粒	B	継続実施
		・テナガエビ資源管理手法開発	⑧	水産試験場諏訪支場		○捕獲調査 月1回(6月~11月)	A	
食害防除・外来種駆除		・エビ種苗放流	⑧	諏訪湖漁業協同組合、 水産試験場諏訪支場		(水試) ・12,200尾(3.4kg)、テナガエビ・スジエビ・ヌカエビ	B	(水試) エビ類資源を守るため種苗を生産し、放流を継続する
		・魚食性鳥類からの食害防除	⑧	諏訪湖漁業協同組合 諏訪農業農村支援センター		・追払い R4実施:90日間。花火等使用。	A	継続実施
	・魚食性鳥類防除技術の検討		諏訪地域振興局(諏訪 農業農村支援センター・ 林務課) 水産試験場諏訪支場、		(水試) ・魚食性鳥類生態調査 ・鳥類種に応じた効果的な防除手法の検討 ・ドローンの活用技術の検討	C	(林務課) 今年度の調査結果を踏まえ、連携団体と調整しながら対策につなげる。 (水試)	

※1 別様式 令和4年度(2022年度)構成員等活動実績 「調査研究」の取組(番号)と関連しています。

① 令和4年度（2022年度）諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員等活動実績

水環境保全

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載

5年間の取組	令和4年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績 【○は新規取組】	進捗 状況	今後の取組方針
			諏訪湖漁業協同組合				構成員と協力して漁業被害の防止のため魚食性鳥類の生態調査・食性調査、防除策の検討を継続する
	・電気ショッカー漁等による外来魚の駆除作業	⑧	諏訪湖漁業協同組合		・目標:3t R4実施:2.8t	B	継続実施

※1 別様式 令和4年度（2022年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。